

食味良好な黄肉のモモ中生系統に福島番号を付与した

福島県農業総合センター果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹－モモ－品種、育種・選抜

2 担当者

赤井広子・岡田初彦・滝田雄基

3 要旨

本県のモモの生産振興と経営の安定を図るために「あかつき」に偏重した品種構成の改善が必要である。本試験では、「あかつき」と「ゆうぞら」の間に収穫できる品質の優れた中・晚生品種の選抜を目標として、大玉で食味良好な黄肉の有望なモモ中生系統に福島番号を付与した。

(1)開花盛期は4月18日で「まどか」より1日早い。花粉は有しない。開花盛期から収穫盛期までの成熟日数は122日であり、「まどか」より4日長い。

(2)果実品質は、果形はやや腰高の扁円形で、果皮、果肉とも黄色であり、果皮は無袋栽培では陽光面を中心に赤色に着色する(図1)。果肉の粗密は中程度であるが、繊維は少なく滑らかな舌触りである。2008～2014年の過去7か年における平均果重は335g、平均糖度は13.8°Brixである。果汁は多く、甘酸のバランスがよく食味良好だが、年によりやや淡白に感じられることがある。香りはあまり強くない。果肉内紅色素が果肉繊維に沿って入り、蜜入りは見られるが軽微である。外部裂果は見られない。核割れは収穫始めにわずかに確認されることがあるが、発生量は少なく、収穫が進むにつれて見られなくなる。



図1 果実外観

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成9年度～26年度
- (2) 研究課題名 果樹の新品種育成
- (3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

5 主な参考文献・資料